



WebSAM DeploymentManager Ver6.0

データベース(DPMインスタンス)へのService Pack 1適用手順書

—第 1 版—

改版履歴

版数	改版日付	改版内容
1	2012/01/31	新規作成

目次

1. Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1適用手順	4
2. Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1適用後の注意事項	5

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他のいかなる保証もいたしません。

商標について

・ WebSAMは日本電気株式会社の登録商標です。

・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

はじめに

本書は、DeploymentManager(以下、DPM)で使用するデータベース(DPMインスタンス)であるMicrosoft SQL Server 2008 R2 Express(x86/x64)にService Pack 1を適用するための手順を記載します。

[対象製品]

WebSAM DeploymentManager Ver6.0

ヒント

- REVISIONは、製品DVD-ROMのラベルに記載しています。
- WebSAM DeploymentManager Ver6.0のアップデートモジュール(Update1以降)(NEC サポートポータルで公開)を適用済みの環境も対象になります。
- WebSAM DeploymentManager Ver6.0[REVISION:003]以降を新規にインストールした場合は、製品同梱のSQL Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1 Expressをインストールする(最初からService Pack 1が適用された状態となる)ため本書に記載の手順は必要ありません。

1. Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1 適用手順

本章では、Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1の適用手順について説明します。

以降は、例としてWindows Server 2008に適用する手順を記載します。OSによって表示/手順が異なる場合がありますので、適宜読み替えてください。

- (1) Microsoft ダウンロードセンター(以下のページ)から、Service Pack 1 のダウンロードファイルをダウンロードします。
<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?FamilyID=b9aa2dba-7f20-4c0c-9afd-1eebee5a94ea>
 - ・x86 OSの場合 : SQLServer2008R2SP1-KB2528583-x86-JPN.exe
 - ・x64 OSの場合 : SQLServer2008R2SP1-KB2528583-x64-JPN.exe
- (2) DPM サーバをインストールしたマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (3) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択します。
「サービス」画面が表示されますので、表示されたサービスの一覧から「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。
- (4) (1)で取得したダウンロードファイルを実行し、画面の指示に沿ってインスタンス(DPMDBI)に Service Pack 1 を適用してください。
- (5) (3)で停止したサービスを開始してください。

以上で、Service Pack 1の適用は完了です。

2. Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1 適用後の注意事項

本章では、前章「1 Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1適用手順」の手順でService Pack 1を適用した後の注意事項について説明します。

Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack 1を適用した後に「インストレーションガイド 4.2 DPMサーバをアンインストールする」の手順に沿ってDPMサーバをアンインストールすると、DPMサーバで使用しているインスタンス(DPMDBI)がアンインストールされません。

以下の資料を参照してインスタンス(DPMDBI)をアンインストールしてください。

製品サイト(http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/index.html)

→「ダウンロード」

→「WebSAM DeploymentManager Ver6.0 SQL Server 2008 R2 製品版のデータベース構築手順書」の
「4 アンインストール」

以上で、アンインストールは完了です。